

**【連載】****鐵都に生きた男たち**

## 第二話 製鉄業界就職第一号の京大生 ～ 技術者の美学を貫いた男～

千々木 亨 (昭和54年度卒業)

### 1. 製鉄業界就職第一号の京大生 沼田尚徳氏

近代製鉄が日本に誕生して150年以上が経過した。その間京都大学から巣立った数多くの先輩が製鉄分野に奉職され発展に大きく寄与されてきた。その先鞭をつけた製鉄業界就職第一号の京大生が沼田尚徳氏である。製鉄分野に携わったすべての京大生にとり大先輩であり、元祖とも言える存在である。

以下本文では沼田家の他の方と識別し、かつ敬愛の情を込めて敢えて沼田尚徳氏のことを「尚徳翁」と称することとする。なお、他の方の敬称は省略させて頂いた。

尚徳翁は1900年7月京都帝国大学を第一回生として卒業し、当時まだ建設中であった官営八幡製鐵所に技手として任官した。以来、30年余にわたり土木総監督として辣腕を振るい、製鉄所のみならず北九州工業地帯の基盤となる土木事業を次々に成功に導いた。中でも工業用水と水道用水供給の為に北九州郊外に建設した河内ダムは当時東洋最大級の規模を誇り、日本を代表する近代化産業遺



沼田尚徳氏 (沼田家 提供)

産のひとつとして世に知られている。ダムには当時の最新の土木技術がふんだんに用いられた。その一方で尚徳翁は現場の石材と自社鋼材を用いた独自の設計で土木建造物への鋼の新利用技術に果敢に挑戦すると共に、環境にも優しい工法も積極的に採用した。更に尚徳翁は、ダムと貯水池に市民公園としての機能を付与させることにも腐心し、生活道路の橋梁から取水塔、管理事務所に至るまで欧米風の洒落なデザインを凝らした。安全管理でも細心の配慮がなされ、当時西日本最大級の難工事であったにも関わらず8年の建設期間中1名の死者も出さなかった。80年を経た今も河内ダムと貯水池は、給水という本来の機能を果たしつつ憩いの場として市民に広く親しまれている。

ところが尚徳翁は数々の大事業を手掛けた功績のある人物であるにも関わらず、昭和5年に54歳で八幡製鐵所土木部長を依願退職し製鐵の第一線から退かれた。製鐵所の利益よりも社会の公益を優先する一途な想いを持った方で、その後も北九州地区の水道整備や小倉陸軍造兵廠の土木業務の指導に当たられたが、日中戦争が本格化する昭和9年、一切の事業から身を引き田舎に隠棲されてしまわれた。どこか謎めいた先輩である。温厚で実直、愛妻家で情熱の人、だが仕事では妥協しない、漢詩人、達筆にして教養人、そんな尚徳翁の魅力を伝える昔話を、飲み屋の片隅で聞いたような気がするが、それももう20年以上も前のことである。今ではその語り部もいなくなった。自叙伝も銅像も残っていない。残っているのは、市民にやすらぎを与え鉄都の誇りを伝えてくれる壮麗な建造物群だけである。

そこで、小職は一昨年京機短信への投稿を依頼されたことを機にこの大先輩の素顔に迫るべく調査を開始した。資料集めは容易ではなかったが、八幡製鐵所総務部の菅和彦氏にご相談したところ、八幡製鐵所の土木関係者の会である「つちき会」の報告書はじめ菅氏が収集された資料を快くご提供頂くことが出来た。又、八幡製鐵所の土木技術部門OBの大木克孝氏には土木技術史のみならず幅広い視点から貴重なアドバイスを数多く頂いた。水戸出身の尚徳翁と沼田一門の方々の調査については、同じ水戸出身である京機会の鯨岡絵里嬢(2008年卒)にご協力頂いた。DL新八ホームページを運営される長倉こつね氏には天狗党はじめ水戸関連の情報引用をご快諾頂いた。そこで、ご提供頂いた情報を元に小職なりに尚徳翁の足跡を追ってみたので紹介する。(ご協力頂いた皆様には心よりお礼申し上げます。)

## 2. 水戸藩士沼田一門

沼田家は水戸藩に代々仕えた武家の家系である。水戸藩が発行した藩士家系譜をまとめた「水府系纂」には尚徳翁の祖父、曾祖父の名も掲載されている。尚徳翁の祖父は沼田久次郎。水戸藩内で歩行目付・普請奉行を経て1863年54歳の時

奥祐筆頭取に進んだ。奥祐筆頭取とは藩幹部の筆頭秘書官のような役職で、特に藩の機密文書を取り扱い執政などに伝える重要な役職であった。藩内で久次郎はその才覚と人物が高く評価されていたことがうかがわれる。

尚徳翁の伯父は沼田準次郎。20歳の時、一橋慶喜公に藩主徳川慶篤が共に上京するよう命ぜられた時、急逝した兄に代わって御床机廻役（藩主の寝床や机周りの世話役）として随行している。準次郎はそのまま京都滞在中に徒歩目付に昇格しており、この時藩主の信任を得たことが推察される。

氏名	巻	頁	備考
沼 新五郎清許	1	102	絶家
沼田 清左衛門之盛	59上	74	絶家
沼田 谷衛門泰通	62	88	
沼田 久次郎泰誨	〃	〃	
沼田 藤次衛門盛正	73	38	
沼田 藤之允盛久	〃	〃	
額田 久兵衛照通	24	4	
額田 久兵衛通義	〃	〃	
額貫 七之介信近	55上	61	武田平十郎泰重下

茨城県立歴史館所蔵『水府系纂(複写版)』目録より転記

水府系纂(すいふけいさん)とは、水戸藩の藩士の系譜を収録した史料である。(財)水府明德会の彰考館文庫が所蔵し、茨城県立歴史館においても複写版を閲覧することができる。

尚徳翁の父上は沼田順三郎。若きころは水戸藩士として父久次郎と共に行動していた。順三郎は幕末を闘い抜いた後、明治時代には教育者として活躍した。晩年は官営八幡製鐵所の高見官舎で尚徳翁と長く同居されており、尚徳翁の人生美学や思想形成に大いに影響を及ぼしたと目される人物である。これら沼田家三人はいずれも水戸藩士としての誇りと気概に満ちた人物であったが、三人は幕末に水戸藩から全国に展開した大事件「天狗党の乱」に巻き込まれ、壮絶な人生を歩むことになる。

尚徳翁の人生と業績を語る前に、尚徳翁の育った環境とその精神的土壌を知る上でこの三人の歩みにまず触れねばならない。

### 3. 天狗党の乱と沼田一門

水戸藩では大日本史編纂を契機に、皇室を尊び敬天愛人を重んずる思想が醸成され、日本武士の精神的支柱ともいえる哲学体系にまで発展した。水戸学と呼ばれる。水戸学は全国に普及し水戸藩士のみならず幕末の全国の志士に大きな影響を及ぼした。

だが、やがて勤皇思想を崇拜する一方で徳川御三家として幕府を支えねばならぬ水戸藩士の中に大きな思想的ジレンマを生むことになる。とりわけ、黒船到来後



明治維新を4年後に控えた元治元(1864)年3月27日、茨城県の筑波山で水戸「天狗党」62名が兵を挙げました。旗は「尊王攘夷」です。 <http://nezu621.blog7.fc2.com/blog-entry-833.htm>

孝明天皇が日米修好通商条約を締結した幕府を糾弾する密勅を水戸藩に下命すると、その密勅を幕府に明かすかどうかの対応をめぐり、幕府支持を主張する佐幕派と天皇を支持する尊王攘夷派は激しく対立した。尊王攘夷派の一部は脱藩し桜田門外の変を引き起こすことになる。中には西丸帯刀らのように長州藩の桂小五郎らと倒幕行動で連携する趣旨の盟約を結ぶものも現れた。そのような中、尊王思想の指導者藤田東湖の息子である藤田小四郎らが水戸藩筑波山麓で決起したのが天狗党である。

その天狗党の急進派は1863年尊王攘夷を幕府に迫るべく反乱を起こした。

(つづく)

## —— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

### 【要領】

宛先は京機会の e-mail: [jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp) です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。

宜しくお願い致します。

# あたかも一身にして多生を経るが如く一人にして多身あるが如し

然し We Have Lived Multi Lives, as It Were; We Unite in Ourselves  
Multi Completely Different Patterns of Experience. However.\*

吉田英生 (sakura@hideoyoshida.com) 航空宇宙工学専攻

エネルギーと資源さらに情報に関連する歴史を振り返ってみたいと思いました。そこで、全くのわたくしの好みで重要事項を取捨選択し、しかも現在から遡った年数を加えてみたのが右側の年表です。

「鉄は産業の米」とも呼ばれますから、本格的な製鉄が始まったほぼ300年前の英国のDarbyを年表の始点としました。

300年というのは、1世代を30年とするなら10世代に相当しますが、1個人の人生を80年とするならたった4倍にも満たない短い時間です。そのような短時間に、人類はよくもまあこんなにも進歩したものだという感慨を禁じ得ません。

実際、この原稿の一部も、京都と東京との間を文字どおり矢より速く駆け抜ける東海道新幹線のシートにもたれながら、ときに美しい青空や富士山を眺めてうっとりしながら、ときに手元のない情報はインターネットで調べながら、パーソナルコンピューターに向かって打ち込ん

年(前)	事項
2010	1 小惑星探査機『はやぶさ』
1989	22 Berners-Lee: World Wide Web
1969	42 Apollo11(月着陸) / Boeing747
1968	43 霞が関ビルディング
1964	47 東海道新幹線
1961	50 Vostok (Gagarin宇宙飛行)
1960	51 Maiman: LASER
1957	54 Sputnik (ソ連人工衛星)
1948	63 Bardeen・Brattain・Shockley: トランジスタ
1946	65 ENIAC (コンピューター)
1942	69 ABC (コンピューター)
1942	69 Fermi: Chicago Pile 1
1939	72 Ohain: ジェットエンジン機
1937	74 Golden Gate Bridge
1931	80 Empire State Building
1930	81 Whittle: ジェットエンジン特許
1926	85 高柳: 電子式テレビ受像機
1912	99 Titanic号沈没
1908	103 Ford: Model T
1905	106 Einstein: 特殊相対性理論(1916: 一般 $\Lambda$ )
1903	108 Wright兄弟: Wright Flyer
1885	126 Deimler: 二輪自動車 / Benz: 三輪自動車
1884	127 Persons: 蒸気タービン
1882	129 Edison: Pearl Street照明 / 銀座アーク灯
1876	135 Otto: ガソリン機関
1876	135 Bell: 電話
1875	136 Verne: 『神秘の島』(水素社会予言)
1875	136 福沢: 『文明論之概略』
1872	139 新橋・横浜鉄道 / 横浜ガス灯
1859	152 Drake: 石油採掘
1843	168 Joule: 熱力学第1法則
1825	186 Stephenson: 鉄道 (Stockton-Darlington)
1824	187 Carnot: 熱力学第2法則
1811	200 Luddite運動 (機械破壊: 産業革命反動)
1800	211 Volta: 電池
1766	245 Cavendish: 水素発見 (1983: Lavoisier: 命名)
1765	246 Watt: 蒸気機関改良 (復水器分離)
1712	299 Newcomen: 蒸気機関 (鉱山排水)
1709	302 Darby: コークス炉製鉄

でいるのです。その人生における体験や知覚し利用できる情報の豊かさたるや、森本哲郎著『文明の主役 エネルギーと人間の物語』（新潮社、2000年）にも引用されていた福沢諭吉著『文明論之概略』中の「あたかも一身にして二生を経るが如く、一人にして両身あるが如し」の言葉以上ではないでしょうか。現代のわたしたちは、「あたかも一身にして多生を経るが如く、一人にして多身あるが如し」とさえ言い換えられるのではないかと思います。

「然し」です。そのような文明を実現し享受する現代のわたしたちが、昔の人たちと比べて賢く立派になったか、そしてなによりも幸せな人生を送っているかと問うならば、答えは簡単ではありません。昨今のうんざりするような国内政治の混迷や国家間や民族間の争いはいうまでもなく、自戒を込めていうと、わたくし自身そしてわたくしの周囲の教育・研究の現場も混乱していることを否定できません。

いったい何が原因でしょうか？ おそらく、人類の大部分が、好むと好まざるとにかかわらず、各個人の容量をはるかに超えたものを追ってあるいは追わされていて、ひとつひとつのものごとに対して、十分に受容し思考し行動する時間を持たずにいるからではないでしょうか。およそ「一刀三礼」などとは対極にある姿勢で、多くのことが考えられ語られ行われ、その結果として社会がますます複雑にかまびすしくなっていく悪循環が、多くの局面で見られるように思います。

「平凡な真理を非凡な表現で語った（丸山真男、岩波新書 325、1986年より）」『文明論之概略』からインスピレーションを受け、一言書かせていただきました。



\* 英文題目は、*An Outline of a Theory of Civilization (The Thought of Fukuzawa, vol.1) Fukuzawa Yukichi, Revised Translation by David A. Dilworth and G. Cameron Hurst, III.* 慶應義塾大学出版会（2008年）の英訳から、その中の“two”を“multi”に変更させていただきました。

傲慢な人間が、日本人を自分以外の下等な国民と高尚な自分に分けて対比し、下等な人間の住む日本は、だから駄目なのだ！ と非難する。この国でしか生きていけないのに、国を貶して反り返っている。

6チャンネルと10チャンネルを渡り歩くニュースキャスターがいる。私は直ちにチャンネルを切り替えてしまうので、最近は何を話しているのか知らないが、インターネット上にこんな書き込みがあったので紹介する。許諾を得ておらず殆どパクリで、また表現を少し変えて改竄していることをお断りしておく。

エライ人は何処にでもいるので、「俺」はを、大臣、社長、自治会長、亭主、御用達評論家など、誰にでも置き換えることが出来、どこでも100%通用する。

## キャスターの発言

## 意図するところ

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 「この国は」               | 「俺以外は愚か者。そんな民が住む日本。」            |
| 「議論が尽くされていない。」       | 「俺が求める結論が出ていない。」                |
| 「皆さんにはもっと真剣に考えてほしい。」 | 「俺に不利な結果が出てしまった。考え直せ。」          |
| 「異論が出ている。」           | 「俺は反対だ。」                        |
| 「・・・と言うことでしょうか。」     | 「この通りなんだよ！俺の言うことがわかったか。」        |
| 「今日はこんなところですよ」       | 「俺が伝えたい話は以上。終るぞ。」               |
| 「ハー、ハー、フンフン」         | 「愚かな民が話中だわ。」                    |
| 「とはいうものの・・・」         | 「今までのことは無視し、これから俺が言うことだけ覚えておけ。」 |
| 「内外に様々な波紋を呼んでいる。」    | 「俺の仲間が騒いでいる。」                   |
| 「心無い中傷がある。」          | 「俺が反論できない批判が出ている。」              |



# 卒業式

3月23日、修士の卒業式、24日に学士の卒業式が執り行われました。



学部卒業生



修士卒業生

式後の懇親会は、東北関東大震災や福島原発事故などの社会状況を考慮し、修士修了壮行会として行われました。若い力が日本の厳しい現状に立ち向かい、これからの日本の活性化に大いに働く気概が感じられました。その際に集められました義援金、計 25,825 円は、京機会有志一同として、日本赤十字社に送金いたしました。



# 平成23年度 京機会総会 ご案内

日時：平成23年4月17日(日)

会場：大阪中央公会堂 / 中集会室・特別室

<http://osaka-chuokokaido.jp/access/index.html>

大阪市北区中之島1丁目1番27号

TEL:06-6208-2002

地下鉄御堂筋線 / 京阪電鉄「淀屋橋」駅下車 <1>

番出口から徒歩約5分

地下鉄堺筋線 / 京阪電鉄「北浜」駅下車 <22> 号出口から徒歩約6分

京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車 <1> 番出口から徒歩約1分



## 行事

- 11:00 ~ 13:00 特別企画 大阪ガス(株) 泉北製造所とガス科学館 見学  
集合: <http://www.osakagas.co.jp/gasscience/dantai/otona.html>  
新大阪駅前ロータリー(新大阪駅1階西詰南側) 10:10  
[http://keikikai.jp/honbu/gyouji/gyouji\\_img/shinosaka.pdf](http://keikikai.jp/honbu/gyouji/gyouji_img/shinosaka.pdf)  
南海羽衣駅近傍羽衣バスターミナル 10:40  
[http://keikikai.jp/honbu/gyouji/gyouji\\_img/hagoromo.pdf](http://keikikai.jp/honbu/gyouji/gyouji_img/hagoromo.pdf)  
スケジュール: 11:10 挨拶・工場概要説明 11:40 工場見学 12:20  
昼食 12:50 総会会場へ出発

参加費用:1,000円(昼食込)

参加希望者は、集合場所( or )を必ず回答下さい。

- 14:00 ~ 15:00 春季大会・総会
- 15:15 ~ 16:30 特別講演会

「レオナルド・ダ・ビンチと科学技術」 京都大学名誉教授 齊藤泰弘氏

科学と芸術 - 要するに理系と文系 - の才能を併せ持つレオナルドは、近代科学技術の先駆者である。彼はどのような科学理論を持ち、何のために技術的発明を使おうとしたのかを、彼のさまざまなアイデアと失敗例から明らかにする。

- (同時開催 14:00 ~ 16:30) サロン

特別室にて、園歌織さんがバイオリン演奏を行います。会場では飲み物、お菓子をご用意しております。皆さんの楽器演奏(各自持参\*)も歓迎します。

演奏希望者は京機会事務局までご連絡下さい。なお、講演会場と隣接していますので、太鼓等の大きな音の出る楽器は避けて下さい。

- 16:45 ~ 18:30 懇親会 (途中、バイオリンコンサートがあります)

会費(懇親会費):

2000年以前に学部卒業の方: 10,000円

2001 ~ 2005年に学部卒業の方: 8,000円

2006年以後に学部卒業の方： 6,000円

現役学生(学部・修士・博士)： 3,000円

同伴ご家族：無料

総会・特別講演会・サロンのご参加は無料です。

お申し込み：締切4月5日 <http://keikikai.jp/cgi-bin/index.cgi?D234>

【お願い】ご同伴者がおられる場合、ご同伴者氏名も会員同様に全ての内容にご登録いただきたくお願いいたします。なお、卒業年次は会員と同じ年次でご登録下さい。

中央公会堂付近イベント及び施設のご案内は、下記をご参照下さい。

<http://keikikai.jp/honbu/gyouji/H23harumenu.pdf>

ご自由な服装でお越し下さい。

昨年度より各種行事参加において、当該年度（H23年度）の会費納入を前提にて参加をお願いいたしております。各位にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本年度の造幣局の桜の通り抜けは、東北地方太平洋沖地震により多くの方が被災されたことを考慮し、ライトアップが中止となりました。4月17日は午前9時～午後5時の開場となっております。

<http://www.mint.go.jp/sakura/torinuke/info.html>

## 【参考】

この度、京機会関西支部により婚活支援組織「**ここのへ会**」が創設されました。今回の春季大会特別室会場において「ここのへ会」登録申込用紙配布コーナーも開設されます。

通常は事務所に於いて相談員と面接の上、登録受付する形式ですが、春季大会においていただいた方には特別に郵送でも登録いただけます。登録ご希望のご家族の方は、是非、春季大会にご参加の上、「ここのへ会」コーナーにもお立ち寄りください。

なお、「ここのへ会」では相談員をしていただくボランティアの方（女性・京機会員の奥様が望ましい）新大阪近く（予定）の事務所に週2～3日おいでいただくの募集も同時に行っております。

ぜひとも、皆様方のご協力をお待ちしております。

<http://osaka-chuokokaido.jp/download/images/>



## 平成 23 年度 中部支部 総会・講演会 ご案内

このたびの東北地方太平洋沖地震において、被害に遭われた方々、ご関係の方が被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。さて、平成 23 年度京機 会中部支部総会・講演会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいます ようご案内申し上げます。

日 時：平成 23 年 4 月 9 日(土) 総会・講演会 15:30～18:00  
会 場：(株)デンソーDスクエア

<http://www.denso-well.co.jp/d-square/> TEL: 0566-62-0555

〒448 - 0026 愛知県刈谷市中山町 2 丁目 38 番地 (JR 刈谷駅徒歩 5 分)

【1】中部支部総会 15:30～16:00

【2】特別講演会 16:15～18:00

梶村 努 氏 (1991 年卒、三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所)

講演：「民間航空機用ジェットエンジンの動向」

国産初のジェット旅客機 MRJ の開発スタート、複合材を多用したボーイング 787 の飛行開始等、近年、ジェット旅客機業界で大きな技術革新を含んだ動きが 見られる。そのジェット旅客機の性能を大きく左右するのが主動力源である ジェットエンジンである。ここでは、そのジェットエンジンの技術動向を分 かりやすく解説する。

松久 寛 氏 (1970 年卒、京都大学大学院工学研究科教授)

講演：「技術者の地位向上」

日本は工業製品の輸出で外貨を稼いで飯を食っており、将来も技術立国を目 指している。それが資源の無い日本の唯一の生きる道である。それには、多 数の優秀な人材が工学に進み、技術者になる必要がある。しかし、若者の工 学離れは着実に進行している。これを防ぐには、技術者の地位を向上させ、給 料を上げるしかない。

自由な服装でお越しください。

お申し込み 下記 WEB 受付よりお申込みください。

<http://keikikai.jp/cgi-bin/index.cgi?D238> 締切: 4 月 5 日(火)

なお、先のご案内に対し、このたびの東北地方太平洋沖地震の被害・影響の大きさを鑑み、新人歓迎会・懇親会を中止しましたことご了承ください。総会のあと新 入会員の紹介のみ実施する予定です。詳しいお知らせは下記をご確認ください。

<http://www.keikikai.jp/shibu/cyubu/gyouji.html>

当日はリカレント講座も開催いたします。併せてお申込みをお願いいたします。

## 【第二世紀記念事業会 第23回 リカレント講演会】

日 時：平成23年 4月 9日(土) 13:30～15:15

会 場：(株)デンソーDスクエア（会場は中部支部総会と同じです）

講 演：安達 泰治 氏（京都大学再生医科学研究所バイオメカニクス研究領域）

### 『生体システムの構造・機能適応ダイナミクスの力学的理解』

生体組織・細胞の構造・機能関係の適応的なダイナミクスについて、力学的な観点から進めているシステムバイオメカニクス研究を紹介する。特に、「力学的階層性」および「力学とバイオの相互作用」に着目し、骨の形態リモデリングや細胞の運動における力学の役割に関する最新の研究例を紹介する。

## INFO

詳細はPDF版でご覧下さい。

### 1. 中国経済見通し： 高成長と質的向上の同時追求 2011年3月15日

変わらない中国と変えようとする中国 大和総研 齋藤尚登

<http://www.dir.co.jp/souken/research/report/economic/monthly/11031501monthly.html>

<http://www.dir.co.jp/souken/research/report/economic/monthly/11031501monthly.pdf>

地方毎の第12次5ヵ年計画（2011年～2015年）を俯瞰すると、前5ヵ年計画と全く変わらない点と大きく変えようとしている点が浮かび上がる。変わらないのは高成長路線の継続であり、変えようとしているのは省エネや環境保護の取り組み強化である。中国は「高成長最優先」から「高成長と質的向上」の同時追求に舵を切ろうとしているといえる。特に、省エネと環境保護について、今回は、中央と地方の間で事前にかなり意思疎通が行われた可能性が高く、取り組みは強化されよう。

### 2. 2011年の中国全人代と12次五ヵ年計画期間中の主な課題

BTMU China Economic TOPICS： 三菱東京UFJ銀行

[http://www.bk.mufg.jp/report/ecownew/chinatopics\\_20110311.pdf](http://www.bk.mufg.jp/report/ecownew/chinatopics_20110311.pdf)

### 3. <中国> 全人代報告の11年目標と5ヵ年規画

3/10

みずほ証券

[http://www.mizuho-msrc.com/dynmc/gcnt.php/DL0000006286/01/04/110310\\_125plan\\_china.pdf](http://www.mizuho-msrc.com/dynmc/gcnt.php/DL0000006286/01/04/110310_125plan_china.pdf)

### 4. 中国第12次五ヵ年計画(2011~2015年)における石油・天然ガス関連政策

2011/3/16 JOGMEG 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

[http://oilgas-info.jogmec.go.jp/report\\_pdf.pl?pdf=110310\\_out\\_m\\_cn\\_12\\_5.pdf&id=4330](http://oilgas-info.jogmec.go.jp/report_pdf.pl?pdf=110310_out_m_cn_12_5.pdf&id=4330)

中国政府は国際公約達成に向け2015年までに一次エネルギーに占める非化石エネルギーの比率を2010年の8.3%から11.4%に高めると設定。また、GDPあたりのエネルギー消費を16%抑制し、二酸化炭素の排出を17%抑制する目標を設定。石炭消費を抑制し、原子力、風力発電の増強ならびにCO<sub>2</sub>排出の少ない天然ガスの利用促進により実現する計画である。しかし目標達成には電力価格等の見直しが欠かせない。

### 5. 中国、レアアース輸出の実態、需に振り向け産業力強化

日経BP社、NTTデータ

[http://www.keieiken.co.jp/pub/articles/2011/pdf/2011-3nk\\_eco.pdf](http://www.keieiken.co.jp/pub/articles/2011/pdf/2011-3nk_eco.pdf)

### 6. 「中国事業環境研究会」報告書(2011年3月)

JETRO

<http://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/reports/07000521>

<http://www.jetro.go.jp/jfile/report/07000521/houkokusho.pdf>

市場としての中国に熱い目が向けられ、さまざまな産業・業種において対中投資の裾野が広がりをみせるなか、中小企業にとっての対中事業は、まだまだチャンスとリスクが並存する。こうした状況下、中小企業にとっての現在、そして将来の中国事業環境について考えるとき、「過去を教訓」に現在の課題を明らかにしながら、自らの経営の方向性を読み取ることが必要と思われる。

この方向性を導くため、官民経済交流や企業経営、各種事業者に対するプロフェッショナル・サービス等の現場で課題解決に取り組んでこられた中国ビジネスの専門家8名を委員とする「中国事業環境研究会」を組織し、全7回の報告と議論を積み重ねてきた。企業経営に難しい舵取りが求められる状況下で、中小企業の対中ビジネスの「転ばぬ先の杖」となる手引書かつ必読書である。

### 7. 中国の高速鉄道海外展開の背景

運輸調査局

[http://www.itej.or.jp/archive/topics/201103\\_00.pdf](http://www.itej.or.jp/archive/topics/201103_00.pdf)

アメリカにおける高速鉄道計画の展望と課題

運輸調査局

カリフォルニアの事例を中心に

[http://www.itej.or.jp/archive/jijyou/201103\\_00.pdf](http://www.itej.or.jp/archive/jijyou/201103_00.pdf)

## 8 . 中国消費財物流の現状と展望

2011年3月14日

日系小売・物流事業者の中国戦略について

みずほコーポレート銀行

[http://www.mizuhocbk.co.jp/fin\\_info/industry/sangyou/pdf/mif\\_96.pdf](http://www.mizuhocbk.co.jp/fin_info/industry/sangyou/pdf/mif_96.pdf)

## 9 . 就職氷河期に思う:雇用情勢を中心とした米国経済の現状と展望

- 中小企業の採用意欲の持直しを背景に、雇用回復テンポは徐々に加速へ -

2011.3.1 信金中金 地域・中小企業研究所

<http://www.scbri.jp/PDFgeppou/2011/2011-3.pdf>

(キーワード) 米国経済、雇用情勢、失業率、中小企業、ジョブレス・リカバリー  
米国経済は09年6月を底に回復に転じたものの、その後の回復は緩やかなペースにとどまっていた。住宅バブル崩壊の影響が尾を引いていたことに加え、雇用情勢の改善の遅れから個人消費の回復に弾みが付かなかったためである。しかし、生産活動の持直しなどによる企業部門の回復は徐々にではあるが雇用にも波及しており、ここにきて家計部門を中心とする自律回復の兆しもみえ始めている。金融危機による深刻な不況に見舞われた米国経済が、ようやく本格回復に向けて動き出すかどうか注目されている。日本経済にとっても、輸出や為替相場のカギを握る米景気の動向は重要なファクターである。そこで、本稿では米国経済の本格回復の条件といえる雇用情勢に焦点を当てることで、米国経済の先行きを展望してみた。

オイルショック後の景気回復局面では、不況期に抑制された需要、いわゆる「ペントアップ・デマンド」が顕在化することで成長ペースが加速した。しかし、今回は雇用情勢の回復の遅れなどの影響で家計の需要が弱く、景気全体の回復に弾みが付かない。

非農業部門の雇用者数は08～09年の2年間で866万人減少した。景気回復を反映して10年には増加に転じたが、年間の増加数は91万人にとどまった。

雇用回復ペースは加速しつつあるが、失業率は9%台、非自発的にパート労働を余儀なくされている者などを含めた広義の失業率は16%台と、厳しい雇用情勢を反映した水準にある。

過去の雇用回復局面では中小企業が受け皿となる形で雇用が回復した。足元では遅れていた中小企業の雇用回復の兆しが広がり、先行きの採用計画にも明るさがみられる。

今回の雇用回復局面では、過去と同様にビジネスサービスなどが順調に回復したが、過去の局面でプラスに寄与した建設や金融の雇用減少が続いた。ただ、足元では住宅バブル崩壊の影響が薄れ、住宅関連や金融分野の雇用減少にも歯止めがかかってきた。

不況期に短縮化した労働時間の修正がほぼ一巡している。今後、労働投入量を引き上げるためには、雇用者数の増加が必要になってくる。

失業率がリーマン・ショック以前の5～6%程度の良好な状態へ回復するには相

当の時間を要するとみられるが、方向としては改善傾向が続こう。雇用の回復テンポが高まれば、実質個人消費は前期比年率で3～3.5%程度の安定成長が期待できよう。

#### 中国人観光客誘致に向けた取組み - 中国人観光客の動向 -

Keyword: 中国人、観光客、ビザ発給、観光立国、ビジット・ジャパン、地域活性化

日本の国内旅行需要は、少子高齢化、長引く不況により頭打ち傾向にあり、急増する中国人観光客をいかに取り込むかは、単一旅館・ホテルの問題であるだけでなく地域活性化の原動力ともなりうると思われる。そのためには、中国人観光客の動向を把握するとともに、その特性を理解し、中国人観光客の誘致につなげていくことが重要である。

現状、訪日中国人観光客は、北海道、ゴールデン・ルートと呼ばれる東京～東海～関西、そして広島、福岡、長崎に集中している。今後は、

発展を続ける中国経済を反映し、消費性支出の増加および消費構造の変化等が見込まれること、

観光ビザ発給要件の緩和等により、訪日中国人旅行者はさらに増加すると見られ、5年、10年先には、日本全国で着実に増加が見込まれる。

訪日中国人旅行者が集中している地域でのさらなる増加が見込まれ、当該地域における宿泊施設の拡充等が必要となってくる。これらの地域では勝機を逃さない素早い対応が必要である。

日本への再訪回数の増加は、団体旅行から個人旅行へ、そして、すでに訪日中国人旅行者が集中している地域から他地域へと旅行動向に変化をもたらすこととなる。まだ訪日中国人旅行者が少ない地域においては、交通アクセスの整備、海外向け広報が緊急の課題であり、行政を中心に地域として受入体制の整備を進めていく必要がある。これらの地域の宿泊施設では、大規模投資を避け、身の丈にあった受入体制の整備に早期に着手すべきであると思料する。

#### 中国華東地域の投資環境 - 江蘇省塩城市の現況 -

日本中小企業学会全国大会国際交流セッション講演抄録、統計

**10 . 2010年の日中貿易** 記者発表 2011年2月17日 JETRO  
輸出・輸入とも過去最高を更新し、総額が3,000億ドルを突破

<http://www.jetro.go.jp/news/releases/20110217384-news>

2011年1月に発表された財務省貿易統計（円ベース、輸出は確報値、輸入は速報値）をジェットロがドル建て換算したところ、2010年通年の日中貿易は総額3,018億5,540万ドル（前年比30.0%増）と初めて3,000億ドルを突破、通年ベースでの過去最高を更新した（注）。うち、輸出は1,490億9,960万ドル（36.0%増）、輸入は1,527

億 5,580 万ドル (24.7% 増) と、2006 年以來 5 年連続で輸出が輸入の伸びを上回った (2009 年は輸出の減少幅が輸入を下回った)。この結果、日中の貿易収支は日本側の 36 億 5,619 万ドルの赤字と、赤字幅は 1994 年 (88 億 8,444 万ドル) 以来 16 年ぶりに 100 億ドルを下回った。

<http://www.jetro.go.jp/news/releases/20110217384-news>

<http://www.jetro.go.jp/news/releases/20110217384-news/pressrelease0217.pdf>

<http://www.jetro.go.jp/news/releases/20110217384-news/release2017-data.pdf>